

教 師 ノ ー ト

| | |
|--|---------------|
| 日付 | 2016年4月3日 |
| 単元 | イースター |
| テーマ | 大宣教命令に従う弟子となる |
| タイトル | 大宣教命令 |
| テキスト | マタイ28:1～20 |
| 参照箇所 | マルコ16:15～20 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | マタイ28:19～20 |
| AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます) | 中学1巻③11課 |
| □導入 マタイ福音書の最後は、非常に重要なイエスさまの命令で締めくくられています。今日はこの「大宣教命令」について学びましょう。 ※ここでは、大宣教命令をメインに扱います。マタイ福音書による「復活の日のできごと」を扱った教案ガイドはこちら→「復活を知らせないためのウソ」 メッセージガイド 教師ノート | |
| □ポイント1 イエスさまは、弟子たちにお会いになりました(28:1～10、16～17) イエスさまが、十字架にかかれてから3日目の朝、マグダラのマリヤたちは、イエスさまのお墓を見に行きました。すると主のみ使いが現れて言いました。「恐れてはいけません。イエスさまは、もうここにはおられません。よみがえられたからです。」イエスさまは、復活なされたのです！主のみ使いは、続けて女の人たちに言いました。「急いで行って、弟子たちに、イエスさまが復活されたことを知らせなさい。そして、ガリラヤでお会いできるということを、伝えなさい。」女の人たちは、びっくりしましたが、大喜びで、急いで弟子たちに知らせに走って行きました。 その道の途中、今度は、イエスさまご自身が、彼女たちに現れてくださいました。彼女たちは近寄って、イエスさまの足に抱きついて、礼拝しました。 女の人たちから、それを聞いた11人の弟子たちは、エルサレムからガリラヤに移動しました。そして、イエスさまの指示された山に登って、イエスさまを待ちました。すると、イエスさまが、弟子たちに現れてくださいました。弟子たちは、イエスさまを礼拝しました。 | |
| □ポイント2 イエスさまは、「弟子としなさい」という大切な命令を与えてくださいました(18～20a) 「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」 これを、みなさんにわかりやすい言葉で説明するために、次のように言いかえることができます。 「わたし(イエスさま)こそ、本当の神ですから、すべての者はわたしに従うべきです。ですから、 <u>地上のすべての者が、みことばに従って生きる弟子になるようにしなさい。</u> 1. 世界中のだれもが、わたしの福音をきくように、行って伝えなさい。 2. そして、福音を信じるように、導きなさい。 3. また、わたしがあなたがたに教えたすべてのことを、しっかりと守って生きるように教えなさい。」 | |

わたしは生きていて、あなたがたがこの命令を成し遂げることができるように、いつもともにいて助けます」

- ④ 大宣教命令の中に出てくる動詞のうち「弟子としなさい」が主動詞(命令形)です。他の「行って」「バプテスマを授け」「教えなさい」は分詞です。ですから、原語(ギリシャ語)に従うと、上記のような意味になります。

□ 結論 イエスさまは、大宣教命令を与えてくださいました

□ 適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

A、みなさんも世界の人々を弟子とする働きをしましょう！

イエスさまは、復活し、今も生きておられます。過去のお方ではありません。今もリアルに生きておられるのです。ですからイエスさまの權威に、すべての者が従うべきです。イエスさまを伝えましょう。そして、この命令を成し遂げるために、復活のイエスさまが、私たちとともにいてくださるのです。イエスさまの「權威」と「助け」によって、宣教が拡大され、今日も世界中に教会があるのです。これが本当だからこそ、あなたにも福音が届いたのです。あなたも、この命令に従って、イエスさまの弟子となりましょう。そして、世界の人々を弟子とする働きをしましょう。イエスさまが、ともにいて助けてくださるから大丈夫です！

B、「弟子としなさい」の命令を守るために、まず自分が弟子になりましょう！

次の3つのことができるように、教会の先生に訓練をしてもらいましょう(弟子訓練)。

1. 「行って」 積極的に、たくさんの人と友だちになって、イエスさまのことを伝えるきっかけや関係をつくることです。イエスさまの弟子を増やすには、たくさんの人と出会い、イエスさまのことを伝えるチャンスをつくる必要があります。人を愛せるように、人間関係作りができるように、なりましょう。
2. 「バプテスマを授け」 聖書から福音をしっかりと説明して、イエスさまを信じるように導くことです。よく聖書を学び、暗唱聖句をしましょう。
3. 「教える」 信じただけでなく、みことばに従って生きる人になるように、よく教えることです。教えるというのは、口頭で教えるだけでなく、自分がお手本を見せ、しっかり訓練する必要があります。まず自分が、イエスさまを愛して、みことばに従う信仰生活を送りましょう。

C、復活を信じましょう！

イエスさまは、本当によみがえりました。もし、イエスさまが、十字架で死んでくださったただけなら、私たちは、依然として、罪の支配の下にいてと言われてしまうかもしれません。死は、罪の結果だからです。しかしイエスさまは、死に打ち勝ったのです。死を打ち破ったということは、罪の支配を完全に打ち破ったということです。ですから、本当にイエスさまだけが、私たちに、永遠の命を与えることができるのです。